

2021年

心のくに文化財交流事業

山梨県と静岡県との文化財の魅力発信する交流展を開催しました。当センターは、静岡伊勢丹とアピタ静岡店で山梨県の縄文土器や石器を展示し、静岡県の人に縄文土器の質感や重さ、黒曜石の切れ味などを体感していただきました！



イベント報告

ご参加いただき、ありがとうございました！

こふんイベント

国史跡銚子塚古墳など、曾根丘陵公園内にある古墳を巡るクイズラリーや、岩清水遺跡で低墳丘墓のかたちを測るイベントを開催しました！古墳について遊びながら学び、埋蔵文化財センターの仕事体験をしていただきました！



武人もバッチリ！

ひらけ！玉手箱

約420年前の石垣を良好に残す甲府城で、当時の石垣の積み方や昔と今の石材の運び方を体験するイベントを開催しました！機械も無い時代に石積みを行う大変さを実感しました…



マチナカ博物館

山梨県はたくさんの土偶が出土しており、その中から110点の土偶を選んで、参加していただいた方に土偶のNO.1を選んでいただきました！

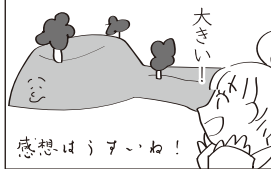


城知る！探検隊

武田氏の祖、武田信義公ゆかりの地である韮崎市神山区で、韮崎市教育委員会のご協力のもと、文化財ウォーキングツアーを開催しました！武田八幡宮や国史跡白山城跡など、見所がいっぱい！



ゆるいセキのススメ



やまなし城・居館めぐりのススメ

今年度のウォーキングマップは、城跡や居館跡を中心に、砦跡や神社、寺院をご紹介します！

今回は峡北から甲府市までが対象地域です。県内の市役所や図書館などで配布していますので、ぜひ巡ってください！へ、いかざー！



編集後記

3月に入って、だんだん暖かくなってきました。この時期は年度の変り目で大忙しの時期ですね。「春眠暁を覚えず(春の眠りは心地よく、夜が明けるのも気づかない)」と言いますが、この眠気に負けじと頑張ってください！

私も頑張って...いき...ZZZ(た)



山梨県埋蔵文化財センター
ホームページ QRコード

埋文やまなし 第66号
発行 山梨県埋蔵文化財センター
〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町9-2-3
☎ 055-266-3016
印刷 株式会社峡南堂印刷所

山梨県埋蔵文化財センター報

埋文やまなし

休日は、
史跡めぐり。

第66号

2022.3/16



史跡甲府城跡

史跡甲府城跡 愛宕山石切場跡
史跡の範囲が追加されます

史跡指定範囲

写真提供：山峡商会

平日は、遺跡にいます。

シブン・美探

埋蔵文化財センターでは、公共工事や大規模な開発事業に先立つ緊急発掘調査、史跡の整備や内容の確認を目的とした調査を行っています。また、調査によって明らかになった先人たちの営みや歴史、出土品の公開だけでなく、文化財の維持や管理・修復等を行いながら次の世代にも引き継いでいく取り組みをしています。発掘調査を通してみえてくる営みの様子は、過去を明らかにするだけではなく、自然との関わり方やその土地での暮らし方や工夫など、しばしば現代のわたしたちが生きるためのヒントを与えてくれます。今回の埋文やまなしは、2021年度に発掘された最新の調査成果と文化財を活用した取り組みをザックリ紹介！しばし遺跡に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

やまなしの 遺跡最新情報

史跡甲府城跡と甲府城下町遺跡

甲府城は武田氏滅亡後、徳川氏や豊臣氏の政権下で築城されました。山梨県内唯一の惣石垣の城で、自然面の石材を「野面積み」と呼ばれる技法で積み上げた貴重な石垣が残っていることから国史跡に指定されました。甲府城下町は二の堀と三の堀で囲まれ、内側には武家地や町人地が造られました。



史跡甲府城跡愛宕山石切場跡

史跡甲府城跡とともに国史跡に指定されている愛宕山石切場跡は、甲府城跡から南東へ、直線距離で約300m離れた愛宕山のふもとに位置しています。史跡内には大きな池があり、この池を中心に石垣の材料となる安山岩を切り出していたと推定されています。



石を運び出した道かな？

令和2年度から史跡の内容確認のために試掘調査を行っており、今年度は史跡南西部分の調査を行いました。その結果、史跡南西部分は、切り出した石の整形や、運び出す準備をしたりする場所だった可能性が浮かび上がりました。

また、史跡に隣接する地点が史跡に追加指定される見込みとなりました！祝！

史跡甲府城跡（内堀）

調査を行った場所はもともと甲府城大手門の東側に面した内堀でした。近年、史跡の整備を目的に試掘調査を行っている真っ最中です。今年の調査では、コンクリート製の建物基礎の下から内堀の石垣とこの石垣に接続する腰石垣が確認できました。腰石垣は一般的に石垣を頑丈にしたり、崩れた箇所を補強するために造ったものと考えられ、地盤が弱かったり石垣が崩れたなどなんらかの理由で設置する必要があったのだと思います。

またこの腰石垣は、江戸時代中頃の絵図に描かれており、調査によって存在が証明されました。



写真左側が腰石垣、正面が一の堀の石垣です！

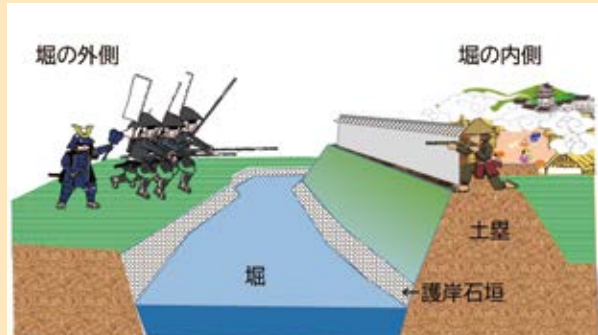
深町遺跡・甲府城下町遺跡

甲府城下町遺跡の城東5丁目地点は、甲府城下町の南東端、濁川と三の堀が合流する場所にあります。三の堀は、甲府城と同時に建設され、甲府城下町をイラストのように外敵から守る施設です。その内側は商人や町人が住む甲斐国経済の中心地でした。

発掘調査では、地中から木造の構造物を発見し、杭や石垣によって濁川に繋がる可能性から、濁川の舟運に関する船着き場（河岸）や舟を造る場所などの仮説を立てています。

舟運は全国で江戸時代から昭和時代に発達した輸送手段です。

今回の遺構は甲府城下町で新発見になるかもしれません。



堀があるから槍など届かんわ！



なぞの木造構造物現る！？

美通遺跡 (都留市井倉)



割れた壺の破片だよ！

これまでの調査で縄文時代から中世までの幅広い時代にわたった遺跡であることがわかってきた美通遺跡。今回の調査では、縄文人が調理をしたと考えられる、たくさんの石を熱した跡や、直径1mくらいの穴に1点だけ横たわっていた弥生時代の壺などが発見されました。

様々な時代でここが生活の舞台に選ばれた背景を考えると、関東平野や甲府盆地、富士吉田や神奈川方面を繋ぐ交通の要所であることなど、この地域の特性がみえてくるように思います。

びしゃもん 毘沙門遺跡（笛吹市境川町）

境川が作りだした扇状地のうち、そのてっぺんに近いところにある毘沙門遺跡。遠く北アルプスまで見渡せる、日当たりのよいなだらかな斜面の上に、6～7世紀（古墳時代）や、10世紀（平安時代）の集落があったことがわかってきました。

調査では古墳時代と平安時代の竪穴建物の跡が発見され、中からたくさんの土器が出土しています。古墳時代の竪穴建物跡の中には1辺が10m程度の大形のものもみつかりました。



この高環で何を盛り付けたのかな？

史跡銚子塚古墳（甲府市下曾根町）

銚子塚古墳は、古墳時代前期の4世紀後半に造られた前方後円墳です。銚子塚古墳は、これまでに、2度の史跡整備工事が行われ、整備を実施してから約40年が経過しています。

今回の整備では、墳丘に生えていた樹木が成長して、日陰となった部分の芝が枯れ、雨水によって墳丘の土が流れてしまった地点の復旧を行いました。また、経年劣化により玉砂利敷きが減ってしまった階段に碎石を入れ直す工事と後円部墳頂部の擬木柵が倒れないように植生土嚢で養生する工事を行いました。きれいになった古墳に来てください！



きれいになりますように…

史跡・特別名勝富士山（富士吉田市）

富士山は、日本を代表する名山であり、世界文化遺産に登録されています。山梨県側の登山道である吉田口登拝道は、北口本宮富士浅間神社を起点に信仰の拠点を結び、山頂まで連続して辿ることができる山梨・静岡両県で唯一の登山道です。昭和46年のスバルライン開通以降、馬返から五合目の登山者が激減したため、旧来の景観が良く残されています。

今年度は、一合目にある鈴原社の前に建つ石造物が倒れてしまっていたため、復旧工事を行いました。また、八合目の山小屋や導流堤の工事、スバルラインの四合目駐車場の拡幅工事等の立会を行いました。



雲の上!!

絶景かな、絶景かな！8合目からの眺めなり！